

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(2006年1月)

発表日：2006年3月24日(金)

～サプライサイドでもバランスの取れた回復～

(No. J-261)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 徳永香奈

TEL: 03-5221-4549

(単位:%)

		第3次産業活動指数																
		電気・ガス・熱供給・水道業		情報通信業		運輸業		卸・小売業		金融・保険業		不動産業		飲食店・宿泊業		医療・福祉		サービス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
04	1-3月	0.0	2.4	0.0	1.3	▲0.4	0.2	0.3	1.9	▲0.5	0.8	1.4						
	4-6月	1.6	2.5	1.6	▲0.1	▲1.5	0.1	▲3.1	3.3	0.7	0.6	0.3						
	7-9月	▲0.2	2.5	▲0.2	0.5	1.6	0.3	1.9	▲2.9	▲1.3	0.6	1.3						
	10-12月	0.6	2.0	0.6	▲1.6	1.7	0.6	0.3	▲2.3	0.9	▲0.1	▲1.4						
05	1-3月	1.4	2.2	1.4	0.4	0.6	▲0.4	1.3	▲6.9	2.0	0.5	2.1						
	4-6月	0.0	1.8	0.0	0.6	▲1.3	3.0	1.1	7.1	0.3	▲0.5	▲2.2						
	7-9月	0.2	2.2	0.2	▲1.0	3.2	0.8	1.2	1.9	▲0.9	▲0.1	2.2						
	10-12月	1.2	0.7	1.2	0.0	▲2.5	▲0.3	▲1.3	3.5	2.8	0.1	▲2.9						
04	1月	2.0	2.5	2.5	▲4.1	0.8	3.4	3.0	0.2	▲2.5	2.2	2.5						
	2月	▲3.1	2.7	▲1.9	▲0.6	▲3.0	▲3.6	▲3.3	▲2.8	0.2	▲3.6	▲4.0						
	3月	1.6	2.1	1.5	0.2	2.6	▲0.6	4.6	3.1	1.0	4.2	0.6						
	4月	2.0	3.4	▲0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	▲0.2	▲0.6	4.4						
	5月	▲1.0	1.0	1.6	▲1.0	▲0.5	▲2.0	▲1.4	0.2	0.5	0.1	▲0.7						
	6月	0.6	3.0	0.8	5.7	0.6	1.1	▲0.8	0.3	▲0.9	▲0.6	0.1						
	7月	▲0.3	3.4	0.1	▲9.3	1.3	0.9	▲1.7	▲0.2	1.2	0.6	0.4						
	8月	0.2	2.6	▲2.0	4.9	▲1.6	▲1.0	1.1	0.1	▲3.1	1.0	0.2						
	9月	0.0	1.6	1.3	▲4.4	0.2	▲0.5	▲1.1	▲0.1	1.8	▲0.3	1.6						
	10月	0.3	0.5	▲1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.4	▲1.1						
	11月	0.3	3.0	▲1.6	▲1.4	0.3	▲0.7	0.8	1.0	▲2.1	0.9	1.9						
	12月	0.1	2.4	▲0.6	2.4	▲0.8	0.0	▲1.0	0.3	5.7	▲0.4	0.7						
05	1月	2.4	3.1	3.6	▲3.1	0.6	4.6	2.9	▲0.3	0.1	1.9	1.9						
	2月	▲1.2	1.5	2.3	1.1	▲1.1	▲2.7	▲1.0	▲0.3	▲0.8	▲2.0	▲0.7						
	3月	▲0.9	2.0	▲0.2	▲2.6	2.3	▲2.9	▲0.2	▲1.2	1.3	1.5	▲0.7						
	4月	1.7	1.7	▲0.6	1.8	0.5	4.3	▲0.2	1.4	▲0.7	▲0.5	1.2						
	5月	▲1.5	1.8	▲2.8	▲1.3	▲1.4	▲2.2	▲0.6	1.0	▲0.7	▲0.3	▲1.8						
	6月	0.9	1.9	2.7	5.5	1.9	0.8	0.1	▲0.2	▲0.4	▲0.5	2.0						
	7月	▲0.7	1.2	▲5.3	▲4.7	▲0.8	▲0.6	0.3	▲0.5	▲0.6	0.3	▲0.4						
	8月	1.6	3.2	5.7	1.7	0.5	1.7	3.6	1.8	▲0.5	1.1	0.9						
	9月	▲0.8	2.1	0.6	▲0.7	▲0.6	▲2.6	2.4	▲0.9	1.5	▲1.2	▲0.5						
	10月	1.3	3.1	▲0.5	6.0	▲0.4	1.7	▲1.1	1.1	▲0.3	0.0	0.7						
	11月	▲0.2	2.6	▲1.2	▲4.0	0.5	0.8	1.8	▲0.3	▲0.1	0.5	▲0.4						
	12月	0.0	2.3	6.5	▲0.6	▲0.1	0.3	1.4	0.9	4.7	1.0	▲1.4						
06	1月	2.2	2.3	▲2.2	1.6	▲0.2	3.6	1.1	▲0.5	▲2.4	1.6	2.8						

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○ 第3次産業活動指数は前月比+2.2%と大きく上昇

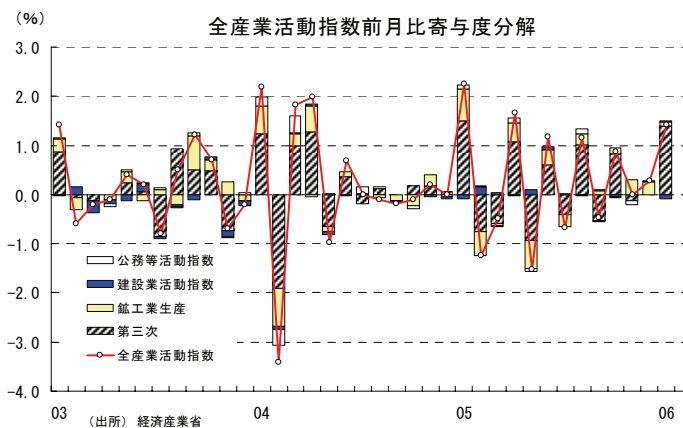
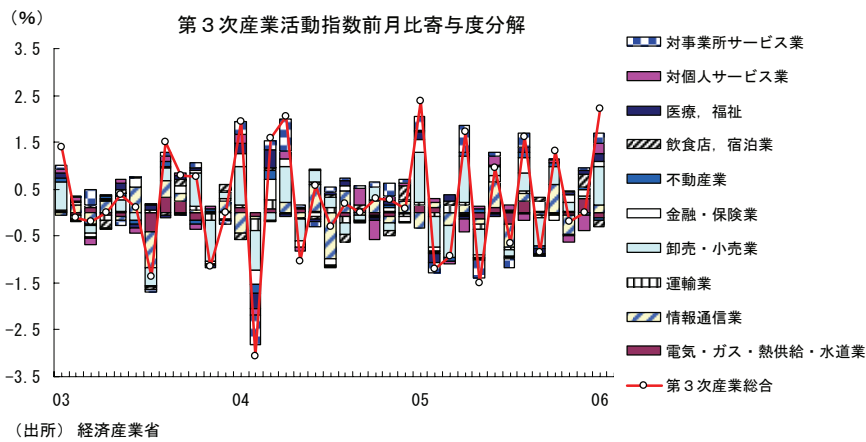
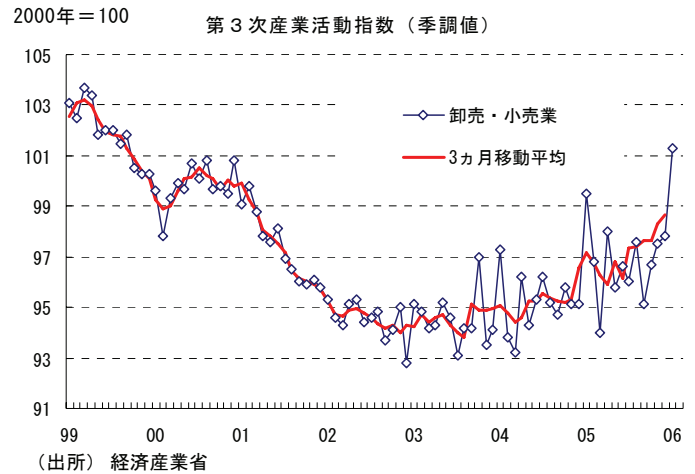
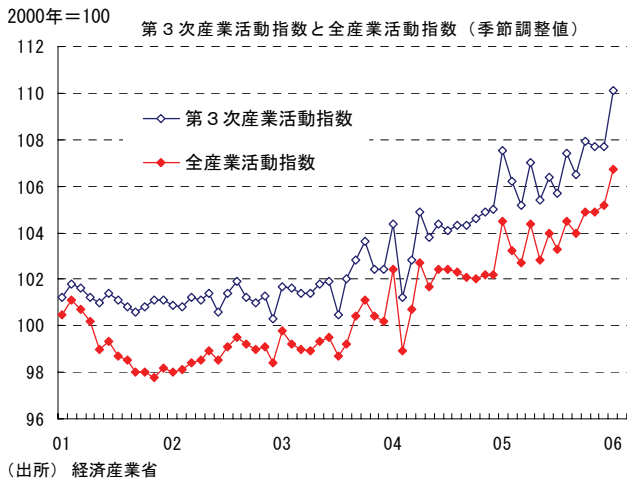
1月の第3次産業活動指数は前月比+2.2%と市場予想(コンセンサス+1.0%、レンジ▲0.2%~+2.7%)を大きく上回った。水準でも110.1と現行統計で過去最高の水準となった。内訳をみると、卸・小売業(同+3.6%)、サービス業(同+2.8%)、複合サービス業(同+19.7%)等が上昇に寄与する一方、飲食店・宿泊業(同▲2.4%)、電気・ガス・熱供給・水道業(同▲2.2%)等が低下に寄与した。

上昇に最も大きく寄与したのは、卸・小売業(寄与度+0.84ポイント)である。気温低下による季節商品の販売増加から衣料品や飲食料品の販売が増加したことなどが背景にある。1月の需要サイドの統計は、個人消費関連に、やや不冴えな動きが見られていたが、供給サイドでは堅調さが確認された。サービス業(同+0.58ポイント)や複合サービス業(同+0.30ポイント)については、前月に天候要因や季節調整による技術的な要因によって大きく減少したことの反動増によるものであるため、多少割り引いて考える必要があるが、第3次産業活動指数が堅調に推移しているとの判断に変更はない。

先行きについても、雇用・所得環境の改善や消費マインドの安定推移を背景にして個人消費の底堅さが持続するとみられることから、第3次産業活動指数は堅調な推移が続く可能性が高いといえよう。

○全産業活動指数も前月比+1.4%と揃って上昇

同時に公表された1月の全産業活動指数も前月比+1.4%と揃って上昇した。内訳をみると、第3次産業活動指数が大きく上昇、鉱工業生産指数(同+0.4%)と公務等活動指数(同+0.2%)は小幅プラス、建設業活動指数は同▲1.4%と減少した。先行きについては、先に述べたように第3次産業活動指数が堅調に推移することに加え、好調な輸出等を背景に鉱工業生産活動指数も好調な動きが見込まれるため、全産業活動指数も底堅く推移するだろう。日本経済はサプライサイドでもバランスの取れた回復局面に入っているといえよう。なお、1月の全産業活動指数の対10-12月期平均は前期比+1.6%となり、高い伸びとなった10-12月期の+1.1%をさらに上回っている。1-3月期の始まりとしては好調な出だしである。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。